

学ぶ・解く・確かめるを一つの Web サイトでつなぐ

「情報Ⅰ」の自校開発学習環境を構築



情報Ⅰの授業では、「デジタル」「データ活用」の学習を支えるため、本校独自の学習サイトを構築し、活用しています。このサイトは、日々の授業で感じた課題をもとに、授業内容に合わせて独自に設計しました。

生徒は一人一台端末を使い、教科書や副読本、生成 AI など基本事項を確認しながら、サイト上の課題や演習問題に取り組めます。分からないところは教科書などに戻り、考え直し、再び問題に挑戦するなど、紙とデジタルのどちらか一方に置き換えるのではなく、それぞれの良さを行き来しながら理解を深める学習を大切にしています。

学習には、基礎から応用へ段階的に挑戦したり、自分自身の到達状況やグループでの話し合いで確かめながら次の課題へ進んだりできる、ゲーミフィケーションの考え方も取り入れています。「もう一問やってみたい」「次のレベルに進みたい」という気持ちを学習につなげ、自分のペースで繰り返し挑戦できることも特徴です。

さらに、同じサイト内で CBT 形式の確認テストまで実施できます。日々の課題演習から確認テストまでを一つの環境でつなぎ、「学ぶ・挑戦する・確かめる・振り返る」までを一気通貫で進められる学習環境を実現しています。

教員側でも学習状況やテスト結果を校内サーバで管理し、一人ひとりのつまづきへの支援や授業改善に活用しています。

単に ICT を「使う」のではなく、生徒が思わず学びを進めたいくなる仕組みそのものを教員がつくる。本校では DX ハイスクール事業を通して、これからも新しい学びの環境づくりに挑戦していきます。